

常盤中ナビより



学校教育目標

「心豊かな中学生」「自ら学ぶ中学生」「活力あふれる中学生」



【母親の嘆きビンタ】

校長 山下 誠二



若葉のまぶしい季節となりました。1年生も徐々に中学校生活に慣れ、元気に登校しています。1カ月余り、少々疲れが出ているときです。連休疲れが出るかもしれません。ご家庭でも、健康管理に十分気をつけていただけるようお願いいたします。

さて、もう20年以上前になりますが、今でも臉に焼き付いている光景があります。ある日、学校にスーパーから電話がありました。生徒が万引きをしたという電話です。スーパーに駆けつけると、警備員室に二人の生徒がしょんぼり座っていました。普段、明るくまじめな生徒たちでしたから、正直ショックでした。盗った品物は、ガムなどの菓子類でした。お金は当然二人とも持っています。スーパーの方から、こんこんと説諭され、保護者の方にも来てもらうことになりました。入ってこられたお母さん方の嘆きは、察するに余りあるものでした。我が子が万引きをしたら、どの親でも地の底に引き込まれるような気がするはずです。でも、その驚き、怒り、嘆きの表現は、お二人では違っていました。



A君のお母さんは、状況説明を聞いた後に、泣きながらA君にビンタを3発、強く叩かれました。一方、B君のお母さんは、我が子を抱きしめながら泣き出されました。しかし、その後の一言が、私は妙に気になりました。

「ね、誘われたんでしょ。もう、こんなところに来ちゃだめよ。」

結果的に、早く立ち直ったのは、叩かれたA君でした。A君のお母さんは、叩いた後で本人にこう言われました。「あんたは、明日から毎日このスーパーの前を歩いて帰きなさい。どんなに物が欲しくなっても、ただで持って行こうという気がなくなるまで、ここに通いなさい。」この言葉は、凄かったですね。いわば、人間の欲望を正面から見据える形ですから。積極的に自分の悪に立ち向かわせる気迫がありました。B君のお母さんは、「こんな欲望の渦巻く場所は、避けて通りなさい。」という姿勢でした。よくわかります。人間は、そんなに強いものではありませんから。でも、「誘われたんでしょ」の一言は、B君の立ち直りを決定的に遅らせました。

人間は、誰しも心の中に「悪」を持っています。こんなときは、人のせいにしないで、真正面から自分の悪と対決させた方が良くと思います。私自身が、いろいろ考えさせられた一コマでした。

